

国際オリンピック委員会（IOC）は 9 月 7 日（日本時間 8 日）、アルゼンチンで第 125 次総会を開き、2020 年夏季オリンピック（五輪）・パラリンピックの開催地に東京を選んだ。五輪は 7 月 24 日から 8 月 9 日まで 28 競技が、パラリンピックは 8 月 25 日から 9 月 6 日まで 22 競技が行われる。

東京、マドリード（スペイン）、イスタンブール（トルコ）の 3 都市から開催地を選ぶ IOC 委員の投票では、まずマドリードが落選。決選投票では東京が 60 票を獲得し、イスタンブールの 36 票を上回っ

た。

投票に先立つ最終招致プレゼンテーションでは、3 大会連続でパラリンピック女子走り幅跳びに出場した宮城県気仙沼市出身の佐藤真海選手が「私がここにいるのはスポーツによって救われたからです」などと、骨肉腫による右足の切断や、東日本大震災で故郷が津波に見舞われた絶望から救ってくれたスポーツの祭典を日本で開いてほしいと訴えた。

（福祉新聞・第 2638 号 2013 年 9 月 16 日）